

## 平成 23 年度東京大学地震研究所職員研修会のご案内

平成 23 年度東京大学地震研究所職員研修会を下記のとおり実施いたします。「職員研修会」は技術職員の技術発表を中心としたもので、昨年度は所外から 14 名のご参加をいただきました。本年度も、各大学及び研究機関におかれる技術系職員の方々の積極的な参加をお待ちしております。尚、過去の研修会の内容については、研修運営委員会のホームページでご覧頂けます。

[http://www.eri.u-tokyo.ac.jp/kenshu\\_iinkai/](http://www.eri.u-tokyo.ac.jp/kenshu_iinkai/)

また、参加者の皆様には、技術発表会への申し込みも募集しております。発表のテーマは、観測・実験・データ処理などの日常研究教育業務の紹介やその成果の報告、観測方法の工夫や装置の改良など、固体地球科学関連の技術系職員が参考になるものを募集します。特に、学術研究発表や論文などに現れることが少なく、実務上欠かせない知識や経験談などの発表を歓迎します。

加えまして、他大学・他研究機関からの参加者で発表される方には、地震研から旅費を補助することも可能であることを申し添えておきます。

### 記

期 日：平成 24 年 1 月 25 日(水) 13:15 ～ 1 月 27 日(金) 12:15

場 所：東京大学地震研究所 (2 号館 5 階第 1 会議室 他)

研修内容：技術発表会 (技術職員による発表)

：グループ研修 (講義・実習による技能・知識の習得)

：特別講演 (教員による講演)

★ 1 月 27 日(木)の研修会終了後、『平成 23 年度地震火山災害予防賞』の表彰式及び記念講演会が行われます。

以上

# 研修会の概要

平成 24 年 1 月 25 日(水) (1 日目) 13:15~17:40

- 技術発表会
- 特別講演 : 都司 嘉宣氏 (地震研究所)  
「海外の地震津波調査と、マラリア、狂犬病、肝炎の予防について」
- 懇親会 (オプション: 参加費 ¥2,000 程度)

平成 24 年 1 月 26 日(木) (2 日目) 09:00~17:30

- グループ研修 (3 項目から 1 つを選択)
  1. 「ノイズのはなし」 講師: (株) 電研精機 様
  2. 「ネットワーク講習 (入門編+α)」 講師: 中川茂樹氏 (地震研究所)
  3. 「測定の演習」 講師: 小山悦郎氏 (浅間火山観測所)

平成 24 年 1 月 27 日(金) (3 日目) 09:00~12:15

- 技術発表会
- 地震火山災害予防賞表彰式
  - 奥田 隆 (名古屋大学全学技術センター 主席技師)
  - 河野 俊夫 (東北大学大学院理学研究科 技術職員)
- 地震火山災害予防賞受賞記念講演
- 修了式

## グループ研修の概要 (3 項目から 1 つを選択)

1. 「ノイズのはなし」 講師: (株) 電研精機 様  
地球科学の中でもとりわけ地球物理学では、様々な物理量の計測をします。しかし、どんな計測にも必ずノイズは付き物で、私たちの目から真実を覆い隠そうとします。そのような、良質なデータを得るために私たちが日々格闘しているノイズの中に、電源に由来するものが少なからずあります。今回の講習では、電源ラインから侵入するノイズの発生源と対策を、首都圏地震観測網 (MeSO-net) などを例に学びます。
2. 「ネットワーク講習 (入門編+α)」 講師: 中川茂樹氏 (地震研究所)  
プロトコル, IP アドレス, サブネットなどの概念についておよび通信手段の (有線 LAN, 無線 LAN, 携帯電話, ISDN, ADSL, 光ファイバー, 衛星通信等々) の規格, 特徴, 短所と長所について講習を受けることにより, IP 接続されている観測点から収録装置までデータが流れてくるネットワークの仕組みが一通り理解できるようにします。
3. 「測定の演習」 講師: 小山悦郎氏 (浅間火山観測所)  
測定は、最も基本的な地球物理観測の 1 つです。地震予知や火山噴火予知の研究には地殻変動が重要なツールとして用いられますが、その始まりは水準測量や三角測量でした。三角測量は、電波測距儀や光波測距儀の登場により三辺測量へと変わり、近年は衛星測位技術の発展に伴って GPS 測量に置き換わりました。しかし、水準測量は機器の進歩こそあれ、1876 年 (明治 9 年) に内務省地理寮が近代的な水準測量を始めてから今日に至るまで測量原理や手法の根幹は変わっていません。実習では、午前中に水準測量の原理や実施上の注意すべきことなどについての座学を、午後からは実際に構内で測量を行います。

## 参加申込票について

職員研修会への「参加」希望者および「発表」希望者は申込票に記入の上、申込みメールアドレス宛てにお送りください。なお締切日は下記の通り設定されています。

申込みメールアドレス	kenshu@eri.u-tokyo.ac.jp
参加申込締切日	平成 23 年 12 月 22 日(木) 17:00
発表申込締切日	平成 23 年 12 月 09 日(金) 17:00
アブストラクト原稿提出締切日	平成 23 年 12 月 22 日(木) までに地震研必着

---

「参加」希望者及び「発表」希望者は、以下の申込票をメールで提出してください。

---

■■■ 東京大学地震研究所職員研修会「参加」の申し込み票 ■■■  
申し込み締切日 平成 23 年 12 月 22 日(木) 17:00

平成 23 年度職員研修実行委員会 御中

職員研修会への出席を申し込みます。

受講者氏名：

(e-mail: \_\_\_\_\_)

所属機関名：

所属部門名：

出欠記入：（ ）内に、出席は○を、欠席は×を入れてください。

1 月 25 日（水） 技術発表会（ ） 懇親会\*（ ） ← 参加費 2,000 円程度 ※  
1 月 26 日（木） グループ研修（ ）（1, 2, 3） ← 参加希望の番号のみ残してください  
1 月 27 日（金） 技術発表会（ ）

\*初日の懇親会は、18 時頃から地震研 1 号館 7F ラウンジにて立食形式で行われる予定です。

---

「発表」希望者は、以下の申込票もメールで提出してください。

---

■■■ 東京大学地震研究所職員研修会「技術発表」の申し込み票 ■■■  
申し込み締切日 平成 23 年 12 月 9 日(金) 17:00

平成 23 年度職員研修会実行委員会御中

技術発表会での発表を申し込みます。

申込者氏名：

(e-mail: )

1. 発表者氏名：  
(連名の場合は、発表者の氏名の前に○を付けてください)  
所属機関名：  
所属部門名：
2. 発表題目：
3. 発表希望時間： 分 (質疑を含めて 20 分まで)  
(発表件数が多い時には発表時間を短縮していただく場合があります)
4. 発表の概要
5. 発表に必要な機材の要望(OHP, マルチメディアプロジェクタ等. ノート PC は用意してあります。)

---

「発表」希望者は、アブストラクト原稿の提出も必要となります。

---

アブストラクト原稿提出締切日 (地震研必着) 平成 23 年 12 月 22 日(木)

- 発表希望者は、原稿ファイルを申込みメールアドレス宛てにお送りいただくか、原稿を下記提出先までご郵送下さい。なおメールで提出される場合は、Microsoft Word や PDF など、標準的なファイルフォーマットでの提出をお願いいたします。

申込みメールアドレス **kenshu@eri.u-tokyo.ac.jp**  
郵送での提出先 〒113-0032 東京都文京区弥生 1-1-1  
国立大学法人東京大学地震研究所 技術部総合観測室  
阿部英二  
TEL 03-5841-0708, FAX 03- 3813-8026  
**h-abe@eri.u-tokyo.ac.jp**

- 原稿は A4 で 2 枚までです。左綴じにしますので、左余白を 2.5cm 空けてください。  
原稿のレイアウトに関しては特に決まりはありませんが、下記 Web にあります昨年度の職員研修会アブストラクト集を参考にして下さい(約 2.2MB)  
[http://www.eri.u-tokyo.ac.jp/kenshu\\_iinkai/record/h22/h22program.pdf](http://www.eri.u-tokyo.ac.jp/kenshu_iinkai/record/h22/h22program.pdf)
- 提出いただいた原稿は返却致しませんのでご了承ください。